

## 令和7年度危機管理合同訓練を実施しました

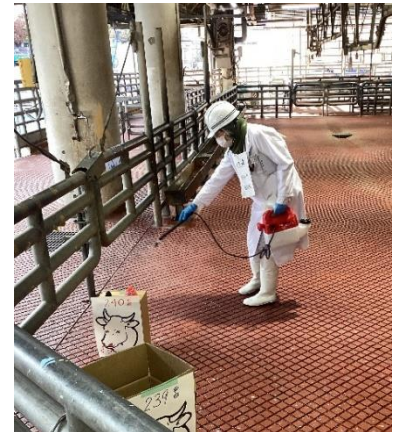
芝浦食肉衛生検査所では、1月30日（金曜日）と2月4日（水曜日）に、中央卸売市場食肉市場及び市場内関係団体と合同で、危機管理訓練を実施しました。本訓練は、東京都炭疽(たんそ)対策要領に基づき、と畜場内で炭疽疑い獣畜を発見した場合に備えて、毎年実施しているものです。

1月30日（金曜日）は、「令和7年度炭疽対策現場訓練」を実施しました。今年度は、「生体係留所において炭疽に罹患した疑いのある牛を発見した。」という想定で、見学を含め106名が訓練に参加しました。訓練は、3部構成で実施し、発見時の初動対応訓練として伝達訓練・封鎖訓練、その後消毒訓練、退出訓練を行いました。

また、2月4日（水曜日）は、「令和7年度炭疽対策電話連絡訓練」を実施しました。炭疽発生時を想定して電話やメールによる情報共有を行い、各団体間及び内部での連絡体制の確立を図りました。

訓練後、市場内関係団体からは「実践的な内容でわかりやすかった。」「今後も関係各所の連携や的確な対応をとるための訓練を実施していきたい。」などの感想がありました。

本訓練は、炭疽だけでなく、豚熱などの家畜伝染病が発生した時の適切な防疫対応に密接につながるものです。当所では、今後もこうした訓練等を通じて、食肉市場や市場内関係団体との連携をより一層強化し、食肉流通の拠点として都民の健康と安全を守るため、平常時から危機発生に対する備えを行っていきます。



【消毒剤散布デモの様子】



【汚染区域を封鎖する様子】